

# 江戸川高等学校 令和5年度 年間授業計画

|                 |                        |    |    |                |                 |     |   |
|-----------------|------------------------|----|----|----------------|-----------------|-----|---|
| 学年              | 3                      | 教科 | 数学 | 科目             | 数学Ⅲ             | 単位数 | 5 |
| 使用教科書<br>(出版社名) | 改訂版 高等学校 数学Ⅲ<br>(数研出版) |    |    | 補助教材<br>(出版社名) | 4プロセス<br>(数研出版) |     |   |

| 学 期         |    | 指導内容                            | 具体的な指導目標   | 評価の観点・方法                                 |
|-------------|----|---------------------------------|--|--|
| 1学期<br>(65) | 前半 | 第3章 関数、第4章 関数の極限、第5章 微分法        | 数列や関数値の極限の概念を理解し、それらの事象を考察できるようにする。  | 定期考査は年間4回。評価はすべてのテストと提出物等の状況を総合的に判断して行う。 |
|             | 後半 | 第5章 微分法、第6章 微分法の応用、第7章 積分法とその応用 | 微分法について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。  |  |
| 2学期<br>(70) | 前半 | 第7章 積分法とその応用 第1章 式と曲線           | 積分について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。   |  |
|             | 後半 | 数Ⅲ入試問題演習、数学入試問題演習               | 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての応用力をたかめ、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用できるようにする。 |  |
| 3学期<br>(40) |    | 数Ⅲ入試直前演習                        |  |  |

\* なお、担当者のそれぞれの工夫や、生徒の理解の進み方等の事情により、必ずしも上記計画のとおり展開するものではありません。

\* 学期欄に( )で記入してある時数は、予定時数です。